県民意見の収集について

資料２－１

１　概要

県民会議では、バリアフリー教育の充実等、バリアフリーの街づくりの推進に向けて県民、事業者、行政が協働して取り組むべきことを、提案書「みんなで創るバリアフリーの街づくり」として取りまとめた。これらの提案について、県民から意見を募集し、寄せられた意見を反映させながら、バリアフリーの街づくりに向けた取組みを進めていくこととする。

２　県民意見の収集状況

(1) 意見募集期間

平成25年７月31日（水）～平成25年12月28日（金）

(2) 収集された意見の概要

ア　意見件数

40件46項目（県民21件26項目、県庁職員19件20項目）

イ　収集手段（県庁職員19件を除く）

ファクシミリ14件、郵送４件、電話２件、メール１件

ウ　意見の内訳

・　バリアフリー教育の充実　13件13項目

・　多様な人が住まう「街」への気づき、障害者理解の促進　８件12項目

・　安心して出かけられる「街」の実現を目指して　19件21項目

エ　主な意見

・　バリアフリー教育について、小中学校や高校で実施しているものを充実させるとともに、幼児期、大学生又は社会人まで対象を広げていくこと

・　駅のエレベーター、案内板又は電光掲示板などのバリアフリー設備について、更なる整備を進めること

・　移動式トイレカーについて、屋外イベントや災害時に備えて、設置台数を増やすこと

〔参考：意見送付者の属性〕　※県庁職員19件を除く

○居住地

海老名６件、横須賀３件、川崎２件、藤沢２件、

横浜１件、座間１件、秦野１件、南足柄１件、不明４件

○性別

男性５件、女性13件、不明３件

○年代

10代３件、30代１件、40代１件、50代９件、60代３件、不明４件